

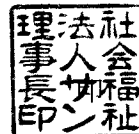
平成26年2月27日

新宿区福祉部介護保険課長 殿

法人名 社会福祉法人サン

受審事業所 より処ぬくみ・くるみ

代表者 理事長 西村美智代



サービス評価結果に基づく改善取組計画書について

下記のとおり改善課題および具体的な取組計画をまとめたので、報告します。

記

1 改善課題

- ①運営層と現場介護職員との連携の強化
- ②マニュアル（手引書）の整備と周知
- ③記録について、意義の再確認とヒヤリハットや事故報告書の要因分析
- ④入居者の重度化に合わせた環境の改善

2 具体的な取り組み

- ①新たに就任した統括管理者が研修等を通じて知識と能力を高める。各ユニットの主任、副主任がコミュニケーションを重ね、スタッフが普段抱えている思いを吸い上げる。運営層の会議を定期的に関することを継続し、文面だけではなく会議を通じて現場職員に周知していく。地域や制度の情報についても会議を通じて共通認識をもつ。
- ②マニュアルについてインデックスなどを使い、わかりやすく整備する。内容については、スタッフの意見を反映させる。契約書や重要事項説明書等、日常の業務では見慣れない書類についてもスタッフ全員が内容を把握するように定期的に確認を呼びかける。
- ③記録の意義を再確認する研修を行い、必要かつ、次に活かせるような記録の仕方を学ぶとともに、過剰な記録を省き、勤務の効率化や負担の軽減を考えていく。ヒヤリハットと事故報告書について、報告書として提出することに留まらず、要因分析や再発防止のための話し合いをカンファレンスや会議を通じて行う。
- ④身体状況の変化に合わせて、適した福祉用具や介助方法を検討する。専門的な知識を得る機会を設ける

3 評価機関に対する感想

的確な質問や、細かい場面観察などを通じて、評価をしていただきました。また評価だけではなく、コミュニケーションの中から、課題の確認や解決方法のヒントも頂くことが出来ており感謝しております。高い評価を頂いている面については自信を持ち、課題は謙虚に受け止め改善していきたいと思っております。

4 事業所からの意見等

細かい分析と評価をして頂いていますが、報告書の量が膨大なので、今後は評価結果と報告書の分析の仕方も学ばせていただく機会ができればと思います。課題として浮かび上がることはもちろんですが、全員が「できている」という評価を出している項目こそに着目することも必要だと感じました。